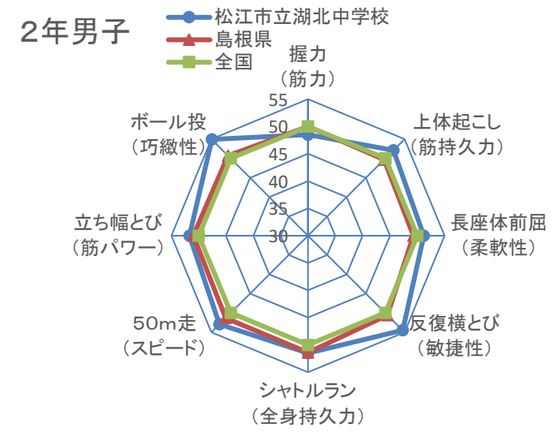
【資料1】

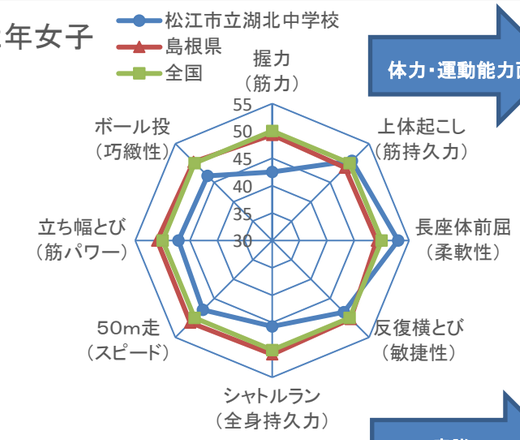
令和5年度　体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和6年3月29日

松江市立湖北中学校

(1)令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

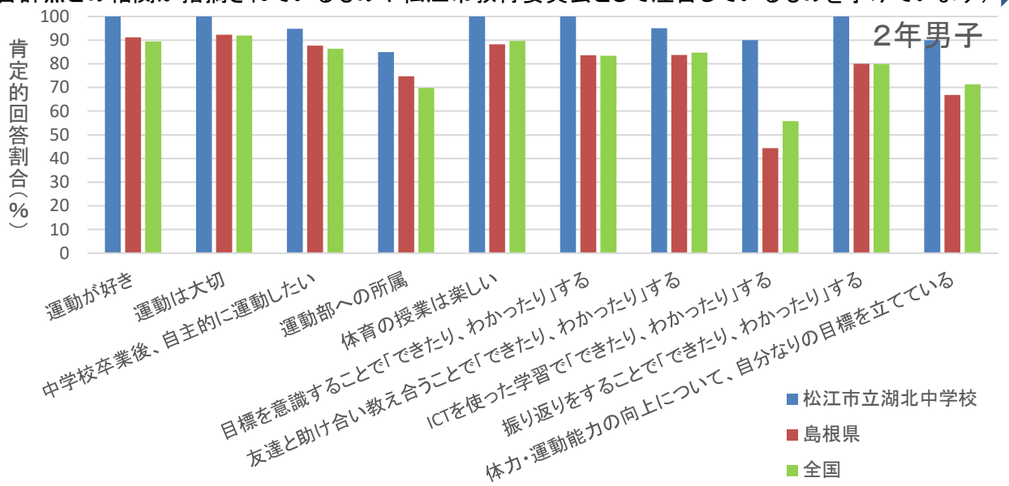


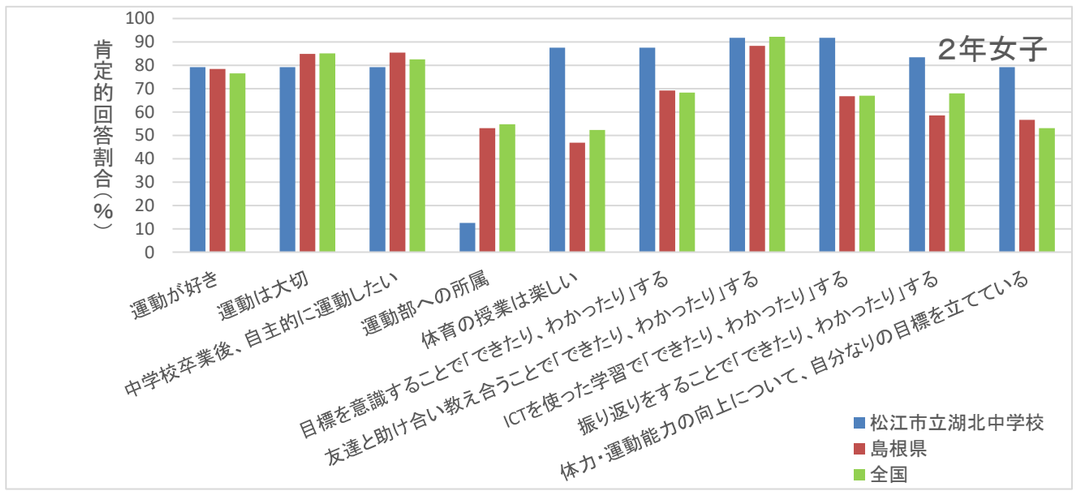


体力・運動能力面

意識

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
（体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています）





(2)調査結果の分析

①体力・運動能力面　全国(偏差値)との比較

	握力（筋力）	上体起こし（筋持久力）	長座体前屈（柔軟性）	反復横とび（敏捷性）	シャトルラン（全身持久力）	50m走（スピード）	立ち幅とび（筋パワー）	ボール投（巧緻性）
男子	−1.5	2.1	1.2	4.5	1.5	2.9	1.7	4.9
女子	−7.5	0.6	3.0	−1.5	−4.3	−2.1	−2.9	−3.3

【−5p以上】	【−5〜−2p】	【−2〜0p】	【0〜2p】	【2〜5p】	【5p以上】
弱み ←					→ 強み

②意識面　全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校卒業後、自主的に運動したい	運動部への所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	10.6	8.0	8.4	15.2	10.3	16.6	10.3	34.2
女子	2.7	−5.9	−3.3	−42.2	35.2	19.2	−0.5	24.7

	振り返りをすることで「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	20.1	18.6
女子	15.4	26.1

【−7%以上】	【−7〜−3%】	【−3〜0%】	【0〜3%】	【3〜7%】	【7%以上】
弱み ←					→ 強み

(3)令和6年度の方針【学校全体での取組】

①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・ICT機器の有効的な活用について、学校全体で研修を行う予定である。

②体育科授業の工夫・改善について
・5年度ICT機器の積極的活用を図った結果、「わかった、できた」という生徒の割合が非常に増えた。来年度も継続して利用していきたい。工夫する点として、機器の利用と運動量の確保のバランスについて、より一層工夫を重ねていきたい。

③体育授業以外の活動の工夫について
・コロナウイルス感染症の5類移項を受けて、体育委員会主催の「昼休みスポーツ交流イベント」を復活させる。

④家庭・地域、近隣の学校・園等の連携、情報発信について
・義務教育学校への移行に向けて、積極的に連携を図っていきたい。